

成果指標				
成果指標	活動指標事業の出席者数。			
指標設定の考え方	大会参加者の出席者数。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標27年度
目 標	45	45	45	0
実 績	37	43	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	今後、各団体の会員数の減少等により、社会教育関係団体の大会や研修会への参加人数の確保がむずかしくなってくると思われる。参加することによって得られる知識、意識向上や変革といった良い面について会員で共有し、積極的な活動につながるよう協議・支援していく必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	社会教育関係団体の研修会や大会への参加を促し、各団体活動の質的向上を目指して活動を進める支援を行っている。研修で得た内容を活かすことにより底上げを図り、より良い活動にしていくよう今後も支援を続けていく必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題